



Joint News Release

2018年10月23日

この資料は BASF および Nornickel が 2018 年 10 月 22 日にドイツ・ルートヴィヒスハーフェンおよびロシア・モスクワで発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF と Nornickel、共同で電池材料市場に供給

- **BASF、欧州初の電池材料生産拠点を発表**
- **BASF と Nornickel は、電気自動車のニーズの高まりに対応するため、戦略的な協力関係を構築**

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、欧州の自動車市場に向けた電池材料生産の最初の立地として、フィンランドのハルヤヴァルタを選択しました。同工場は、ノリリスク・ニッケル社(Nornickel)が所有するニッケル・コバルト精錬所に隣接して建設されます。

今回の投資は、昨年発表した BASF の 4 億ユーロにおよぶ多段階投資計画の一環で、2018 年にハルヤヴァルタで開始した電池材料の初期生産を活かしたものです。2020 年後半の稼働を計画しており、BASF の電池材料により、年間約 30 万台のフル電気自動車を供給できるようになります。ハルヤヴァルタの新工場では、水力、風力、バイオマスなど、この地域の再生可能エネルギーを利用します。

さらに、BASF と Nornickel は、Nornickel の金属精錬所からのニッケルとコバルト原料の長期的、かつ市場ベースの供給契約に調印しました。これにより、欧州における電池生産用原料の現地調達および確保が可能となります。

この投資はまた、欧州の電池生産バリューチェーンに向けた EU 委員会のアジェンダに対する BASF の支持を強化するものです。BASF はさらに、電池材料の新生産工場の建設に向けて、欧州でのさらなる立地の評価を進めています。

「ハルヤヴァルタへの投資により、BASF は全ての主要地域において現地生産をもち、よりお客様の近くで、急速に成長する電気自動車市場をさらにサポートできるようになります」と、BASF の触媒事業本部プレジデント、ケニス・レーンは述べています。「Nornickel の協力のもと、私たちは原料供給、および電池材料技術・生産に関わる業界のリーダーの取組みをつなぐ、強力なプラットフォームを構築しています。」

「BASF の新工場と Nornickel の金属精錬所を同じハルヤヴァルタに設置することにより、国内のニッケルとコバルトの供給への比類のないアクセスが可能になるでしょう」と BASF の電池材料事業部シニア・バイスプレジデントであるジェフリー・ロウは述べています。「当社のハイ・ニッケル系正極材料は、エネルギー密度と走行距離を向上させる上で重要な材料です。この世界規模の生産設備により、信頼性の高い供給と緊密な協力が可能になり、BASF は主要な OEM およびセル・サプライヤーが掲げる、欧州の e-モビリティ成長戦略に貢献していくことができます。」

Nornickel の販売・調達・イノベーション担当バイスプレジデントの Sergey Batekhin 氏は、「長期的な戦略的パートナーである BASF との提携を拡大することができ、嬉しく思っています。この合意は、世界の電池材料市場での存在感を拡大し、正極材のリーディングサプライヤーと長期的な協力関係を確立するという Nornickel のより広範な戦略において、重要な要素です」と述べています。

また Batekhin 氏は次のよう述べています。「電気自動車は世界のニッケル産業を変える大きな可能性を持っていると信じています。Nornickel は、精錬ニッケル製品の世界のリーディングサプライヤーとして、この変革をサポートできるユニークな立場にあります。特に、当社が欧州をはじめ世界のグリーン経済の発展を支える重要な役割を果たせることを誇りに思います。Nornickel は、資源基盤の持続可能な長期的発展および、世界的な材料サプライチェーンにおける責任へのコミットメントを改めて表明します。」

BASF のバッテリー材料、および e-モビリティへの取り組みについては、以下の Web サイトをご参照ください。(英語)

<https://catalysts.basf.com/products-and-industries/battery-materials>

また、BASF の電池材料に関する写真は、以下の Web サイト上の検索ボックスにアルファベット「battery」をご記入の上、ご参照ください。(英語)

<https://www.basf.com/en/company/news-and-media/multimedia/photos.html>

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASFの触媒事業本部について

BASF の触媒事業本部は、世界をけん引する環境触媒およびプロセス触媒のサプライヤーです。同事業本部は、私たちが吸っている大気を保護し、私たちの生活を支える燃料を生産し、先進的な電池材料を含む化学製品、プラスチック製品その他の製品を効率的に生産するための技術開発分野において、卓越した専門性を有しています。業界最高の研究開発環境、技術革新への情熱、そして貴金属・卑金属への深い知識を活かし、BASF の触媒事業本部は、お客様を成功へと導く他社にはない優れたソリューションを開発します。BASF の触媒事業本部に関する詳細な情報は、インターネット <http://www.catalysts.basf.com> をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く、世界をリードする化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の3つを同時に果たしています。また、全世界で115,000人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。製品ポートフォリオは化学品、高性能製品、機能性材料、アグロソリューション、石油・ガスの5つの事業部門から成ります。2017年のBASFの売上高は約645億ユーロでした。BASFは、フランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)およびチューリッヒ(BAS)の証券取引所に上場しています。BASFの詳細な情報は、www.basf.com をご覧ください。

■Nornickel について

PJSC MMC Norilsk Nickel 社は、多角的な鉱業・冶金会社です。また、世界最大の精錬ニッケルとパラジウムの生産者であり、プラチナ、コバルト、銅、ロジウムの主要な生産者です。また、金、銀、イリジウム、セレン、ルテニウム、テルルも生産しています。Nornickel の生産部門には、タイミル半島のノリリスク工業地区にある Polar Division、ロシアのコラ半島にあるコラ鉱業・冶金会社、フィンランドのハルヤヴァルタ精錬所などがあります。Nornickel の株式は、モスクワと Санкт-Петербург 証券取引所に上場されており、Nornickel ADR は米国の店頭、ロンドンとベルリンの証券取引所で取引されています。詳細は、www.nornickel.com をご覧ください。

本リリースに関するお問い合わせ先:

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・アフェアーズ本部

馬込 綾子

Phone: 03-3796-4867

Fax: 03-3796-4111

Email: ayako.magome@basf.com

PJSC MMC Norilsk Nickel

Media Relations

Phone: +7-495-785-5800

E-mail: pr@nornik.ru